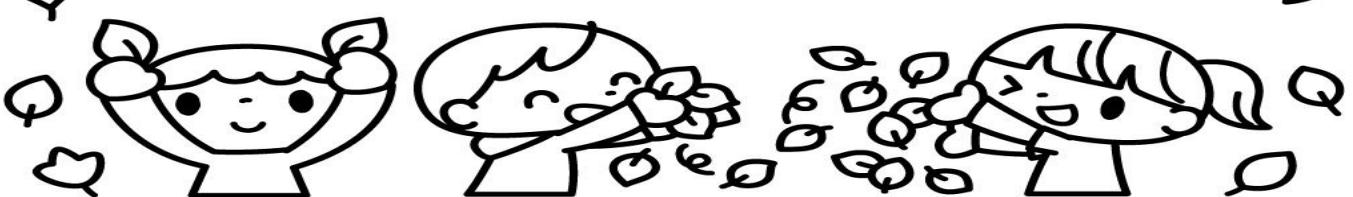


西巣鴨幼稚園だより
にしすようでなにしよう?
11月号

令和7年10月20日発行

豊島区立西巣鴨幼稚園
園長併任 後藤 大輔
Nishisugamo-k@city.toshima.ed.jp



『人との関わりを通して』

園長併任 後藤 大輔

10月に入り、ようやく秋らしい爽やかな風を感じるようになりました。園庭や公園の木々も少しずつ色づき始め、秋の気配を漂わせています。

そんな秋の穏やかな日差しの中で、10月2日には飛鳥山公園に遠足に出かけました。飛鳥山公園に行くのは昨年に続き2回目で、様子を覚えている公園で子どもたちは伸び伸びと遊んできました。

公園では最初に秋探しをしました。小さいどんぐりや大きいどんぐり、かさが開いた松ぼっくりを見つけるたびに子どもたちは大喜びでした。その後は大きな滑り台などの遊具がある場所へ移動しました。そこには他の保育園の子どもたちも来ていましたが、上手に順番になりながら滑り台を滑っていました。

また、行きや帰りでは子どもたちは電車の中では静かに過ごし、幼稚園に帰る時まで頑張って歩いていました。楽しく過ごしながら、様々なことを経験して成長につながる遠足になりました。

今は運動会に向けて頑張って練習しています。今年のテーマは「お祭り」です。この運動会に向けて、夏の間にもいろいろなところで盆踊りなどのお祭りに参加してきていると思います。先日は町会のお神輿を直接見させていただき、飾りをつける体験もさせていただきました。また、西巣鴨小学校で小学生のダンスや応援団の練習も見学しています。そして様々な場所での人との関わりを通して、いろいろなものを見て、体験して、そして様々なことを感じてきました。そうした積み重ねができるのも本園の特色です。

そのような積み重ねを経て、本番で元気いっぱいに頑張る子どもたちの姿を楽しみにしていてください。そして子どもたちに大きなご声援をお願いいたします。

11月はこのような指導をします

ほし組

- ももほしランドに向けた相談や準備を通して、互いの思いを出し合いながら、学級の皆で協力して活動に取り組めるようにしていきます。
- 戸外で自然に触れたり、身体を動かしたりして遊ぶことを楽しみながら、季節の移り変わりを感じる。